



やさとっ子

1 月も早いものであと 10 日となりました。連日、新型コロナウイルス感染症の勢いが収まらず、緊張の連続です。保護者のみなさま方には、子どもたちの体調管理等、引き続き、お世話になります。よろしくお願いいたします。

●令和3年度 学校評価アンケート結果について

12 月に実施させていただきました『学校評価アンケート』の結果をお知らせします。アンケートは「児童用」と「保護者用」の 2 つとなります。肯定的回答について、昨年度の結果とも照らし合わせました。2 ポイントの差がある項目につきましては、「↓↑」にて記入しています。

今後も、今回のアンケート結果をもとに教育活動を見直していきます。

【「生活アンケート」より(子どもたち(1 年～6 年)を対象にしています。)】

	肯定的回答
授業は分かりやすいですか。	↑ 94%
授業で学んだことは将来の役に立つと思いますか。	95%
普段の授業では学校と友達と考えを出し合い、まなび合う活動をよく行っていると思いますか。	↑ 89%
自分から進んで家庭学習に取り組んでいますか。	↓ 82%
読書は好きですか。	79%
学校生活は楽しいですか。	92%
自分には良いところがあると思いますか。	↑ 81%
将来の目標や夢について考えたことがありますか。	88%
人を思いやり協力して活動することができますか。	91%
いじめは絶対にいけないと思いますか。	98%
ふだんから、あいさつをしていますか。	89%
早ね早起きに気をつけていますか。	↑ 83%
係や当番の仕事をきちんとしていますか。	↓ 94%
地域の行事に参加していますか。	↓ 73%
運動や外遊びは好きですか。	83%

全体的にみても、上記のように肯定的な回答が多いという結果でした。以下、分析です。

- 『学校は楽しいですか。』の問いに対して、92%の子どもたちが「楽しい」と回答しています。しかし、反対に、残りの子どもたちが「そう思わない」「どちらかというと思わない」との意見であったことを真摯に受け止め、子どもたちが「今日も楽しかった。」「明日行きたい。」と思える学校づくりを今後もめざします。
- 『授業はわかりやすいですか。』の問いについては上がっています。教員も、日々、子どもたちの学力向上に向けて、教員も研鑽を積み、「わかりやすい授業づくり」をめざしてきました。習熟度別少人数教育に取り組んでいることも成果のひとつかもしれません。
- すべての学校生活の基礎となる「自尊感情」については、大きく向上しました。今後もしつ

かりと手立てを講じ、自分に自信が持てる子どもの育成に努めます。

- 「早寝・早起き」の生活習慣も向上が見られました。保護者のご協力のおかげです。

【「学校教育活動アンケート」(全保護者さんを対象にしています。)]

学校は授業や朝の学習の中で子どもたちに読み・書き・計算などの基礎・基本の学力を身につけさせようと努めている。	95%
学校は授業を工夫するなど、分かりやすい授業づくりに取り組んでいる。	91%
学校は子どもたちが自分から進んで家庭学習に取り組むように努力している。	86%
学校は読書活動の推進により、本に親しむように取り組んでいる。	83%
学校は地域の文化・自然・人材を学習に取り入れ様々な体験活動を通じた授業に努めている。	97%
学校は、豊かな心を持った子どもに育てようとしている。	89%
学校は家庭内や地域の人にあいさつできる子どもに育てようとしている。	89%
学校は、子どもの健康や安全の意識を高めるための指導をしている。	↓ 93%
学校は、子どもが意欲的に運動するための取組を、積極的に行っている。	89%
学校は、相談したい時に、気軽に相談できる。	↓ 81%
コミュニティスクールとして学校・家庭・地域が協力・連携して、子どもの教育や通学の安全に取り組んでいる。	94%
学校の取り組みや様子を、授業参観、学校・学年だより・ホームページを通して、積極的に知らせようとしている。	94%
子どもは楽しく学校に通っている。	95%

保護者のみなさま方より、肯定的な意見をたくさんいただきました。保護者のみなさまからの本校へのあたたかい励ましと感じています。ありがとうございます。

- 昨年度に引き続き課題が残っているのは「家庭学習」と「読書」です。担任による自主学習のよびかけや図書コーナーの開設などを行ってきましたが、まだまだです。再度、全校教職員でしっかりと話し、**“子どもたちが自ら家庭学習に取り組むためにどうしていくのか”** **“本に親しむことができる子どもを育てるためにどのような手立てを講じていくのか”**などについて考えていきます。
- 校長として心配なのは、『学校は、相談したい時に、気軽に相談できる。』の数値です。「令和元年度 70%、令和2年度 84%、令和3年度 81%」でした。このことをしっかりと受け止める必要があります。常に本校では『348人の子どもを35人の先生たちでみよう』を合言葉にしています。学級担任をはじめ校長・教頭・養護教諭・スクールカウンセラーなど、普段から気軽に相談できるような雰囲気づくり、“相談してみよう”と思える環境づくりに努めていきます。
- 「健康」と「安全」の意識の向上についても、とても大切なことです。自分のいのち、友だちのいのち…など、『いのちの大切さ』について考える機会をつくります。

この結果をしっかりと受け止め、3月末までの残りの日々、そして、令和4年度の教育活動へと生かしていきます。日頃から、お子さまのことで心配な点等ありましたら、遠慮なくお知らせください。